



シャッターのご使用上の注意

※お使いのシャッターの種類によって警告事項が異なります。詳しくは該当製品の取扱説明書をお読みください。



開閉操作をする際、シャッターの下に人がいないこと、物が無いことを確認してください。

シャッターにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



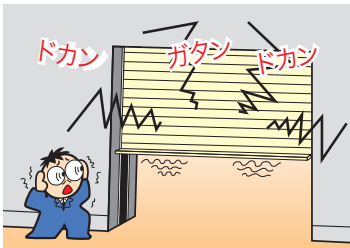
シャッターが動いているときに人や車の出入りは絶対にしないでください。

シャッターにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



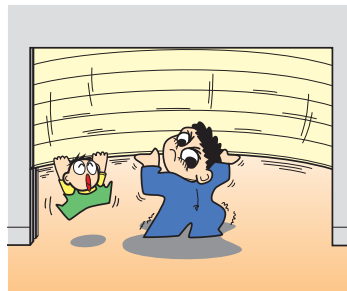
シャッターが動いている間は、シャッターのそばを離れず、目を離さないようにしてください。特に閉まる間際は確実に見届けてください。

第三者がシャッターにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



動きがおかしい時、異常音が出た時は、直ちに使用を中止して、修理をご依頼ください。

生命にかかわる事故になる場合があります。



動いているシャッターを手で止めようとして、ぶらさがったりしないでください。

シャッターにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



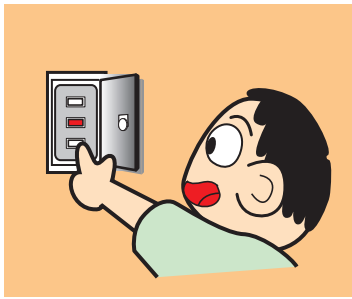
シャッター降下中に開ボタンを押してもシャッターは上昇しません。

思わぬ事故になる場合がありますので注意してください。降下中に上昇させたい場合は停ボタンを押した後、開ボタンを押してください。



シャッターの下やその付近で子供を遊ばせないでください。

突然シャッターがおりてきてはさまれて、大けがをしたり、生命にかかわる事故になる場合があります。



子供に押しボタン操作をさせないでください。

誤ってはさまれたり、思わぬ大けがをすることがあります。



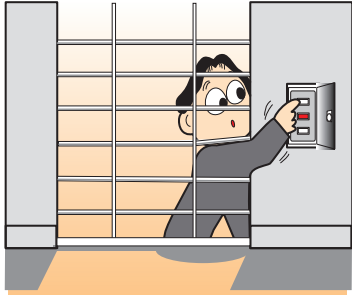
押しボタンスイッチには、水をかけないでください。

漏電のためシャッターが勝手に動き出し、はさまれたり、感電したりして生命にかかわる事故になる場合があります。



シャッターを使用しない場合は、押しボタンスイッチに鍵をかけてください。

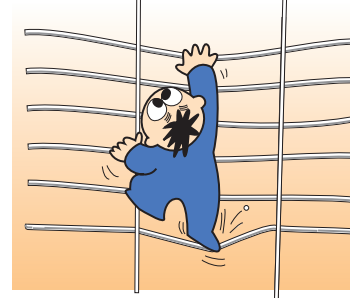
いたずらされ動き出し、はさまれたり、感電したりして生命にかかわる事故になる場合があります。



グリルシャッター

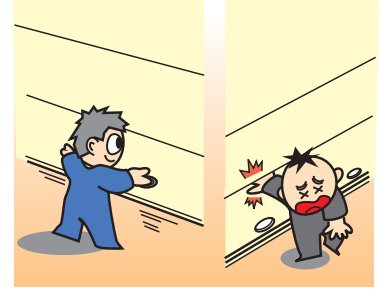
パイプの間に腕を入れて押しボタン操作をしないでください。

腕をはさまれたり、感電したりして、大けがをしたり生命にかかわる事故になる場合があります。



グリルシャッター

パイプにぶら下がったり、足をかけて登ったりしないでください。パイプが折れ、落下して大けがをしたり、電動式の場合シャッターにはさまれ、生命にかかわる事故になる場合があります。



オーバースライディングドア

オーバースライディングドアをおろす場合、パネルとパネルの間に指をかけないでください。

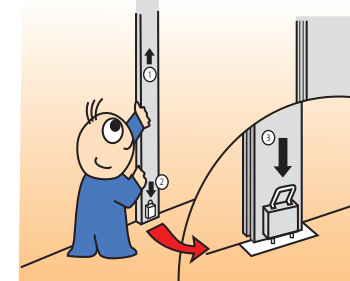
指をはさんで大けがをすることがあります。



オーバースライディングドア

ローラー、ワイヤー、レール、ヒンジには絶対に手を触れないでください。

思わぬ大けがをすることがあります。



中柱付シャッター

中柱は確実に固定してください。

固定が不完全だと強風時にシャッターが外れる恐れがあり、生命にかかわる事故になる場合があります。